

平成24年度

交通安全運動推進計画 を作成しました

平成23年

人身事故発生状況



交通安全運動
推進の基本方針

交通事故のない「安全で快適な交通社会」の実現を目指し、「交通死亡事故抑止」を重点課題に交通安全運動を市民総ぐるみで展開するため、関係機関・団体と連携する中で、各種対策を強力に推進し、交通安全思想の普及徹底を図ることとします。



年間スローガン
年間重点事項

「交通安全の主役は、市民一人ひとりである」との認識をもって正しい交通行動を身につけ、自ら進んで交通安全活動を実践して交通事故防止を図り、安全で安心して暮らせる快適な地域社会をつくり出します。

飲酒運転の根絶

飲酒運転の危険性、責任の重大性を認識し、飲酒運転を許さない気運の醸成を推進します。

高齢者の交通事故防止

高齢者交通安全実践促進事業「いきいきなかの交通安全塾」や、単位老人クラブごとに「高齢者地域交通安全塾」を実施するなど、高齢者の事故防止を推進します。

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

薄暮時から夜間の道路横断中に歩行者の重大事故が発生していることから、夜光反射材の普及など、事故防止を推進します。

自転車の安全利用の推進

小学校ごとに自転車安全運転技能講習会を実施し、子どもたちから自転車安全利用のためのルールやマナーの習得を図ることで、事故防止を推進します。

交通安全多発箇所の安全対策

長野県・中野市・中野警察署・道路管理者などが連携をとりながら、交通事故多発箇所の現地診断を行い、事故防止対策を推進します。（多発箇所は右ページ参照）

すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

後部座席のシートベルトおよび

交通安全多発箇所の安全対策

長野県・中野市・中野警察署・道路管理者などが連携をとりながら、交通事故多発箇所の現地診断を行い、事故防止対策を推進します。（多発箇所は右ページ参照）

交通安全多発箇所の安全対策

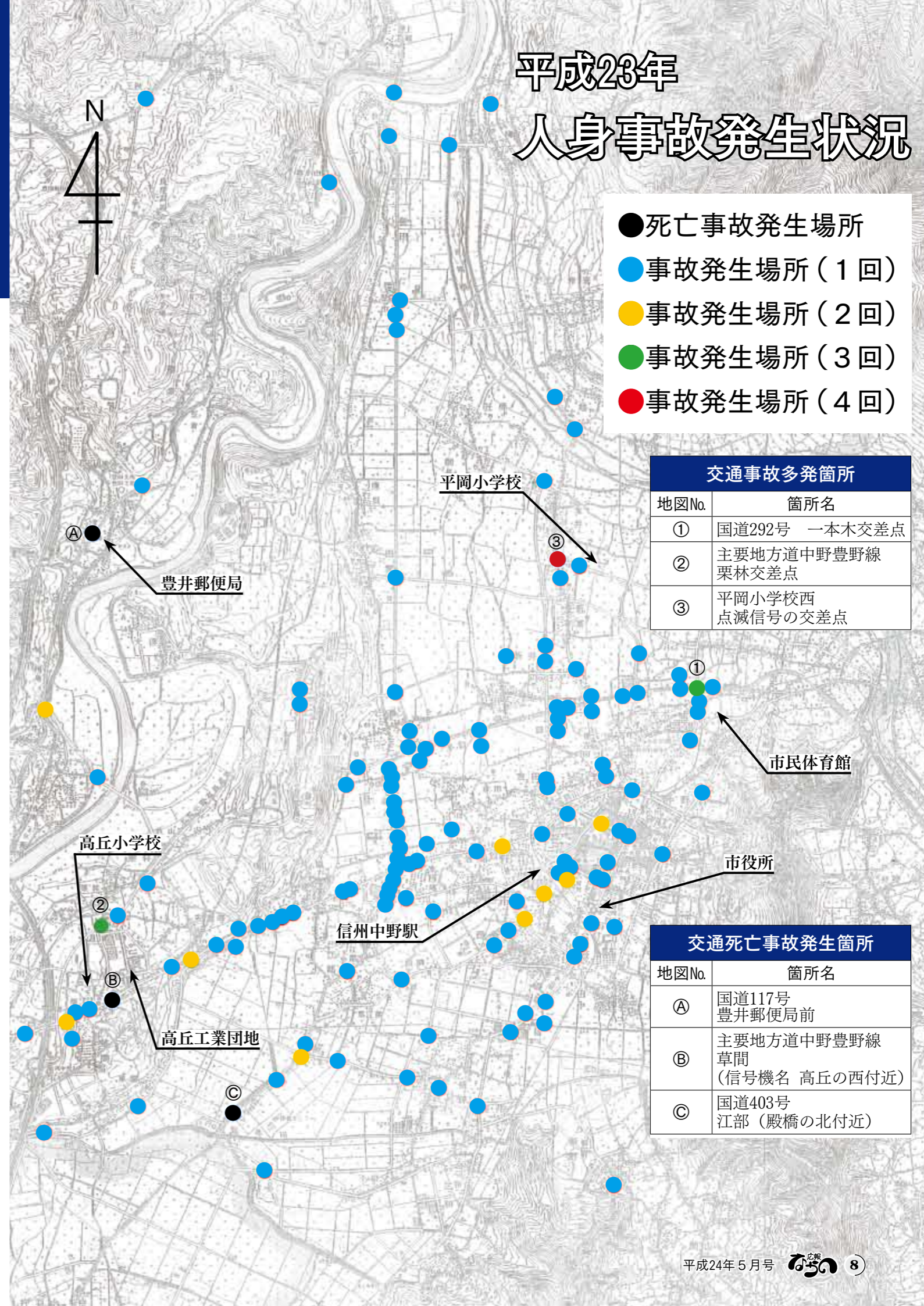
長野県・中野市・中野警察署・道路管理者などが連携をとりながら、交通事故多発箇所の現地診断を行い、事故防止対策を推進します。（多発箇所は右ページ参照）

交通安全多発箇所の安全対策

長野県・中野市・中野警察署・道路管理者などが連携をとりながら、交通事故多発箇所の現地診断を行い、事故防止対策を推進します。（多発箇所は右ページ参照）

交通安全多発箇所の安全対策

長野県・中野市・中野警察署・道路管理者などが連携をとりながら、交通事故多発箇所の現地診断を行い、事故防止対策を推進します。（多発箇所は右ページ参照）



- 死亡事故発生場所
- 事故発生場所（1回）
- 事故発生場所（2回）
- 事故発生場所（3回）
- 事故発生場所（4回）

交通事故多発箇所	
地図No.	箇所名
①	国道292号 一本木交差点
②	主要地方道中野豊野線 栗林交差点
③	平岡小学校西点滅信号の交差点

交通死亡事故発生箇所	
地図No.	箇所名
A	国道117号 豊井郵便局前
B	主要地方道中野豊野線 草間（信号機名 高丘の西付近）
C	国道403号 江部（殿橋の北付近）